

授業概要

本授業では、心理学の知識・技能の修得により、自己理解及び他者、社会への理解を深めるスキルを身に付けることを目的として、心理・社会調査を行うための、テーマの設定、仮説構築、質問項目の作成から実際のデータ収集、データ整理、データ解析、論文（報告書）の作成までのすべてのプロセスについて講義します。特に量的調査を中心とした方法論について理解を深めていただくために、調査を実施するまでの過程と、実施した後のデータ処理・解釈の2段階に分けて説明します。講義が中心ではありますが、調査の一連のプロセスを理解していただくために、データ解析を授業中に演習することも予定しています。

授業計画

第 1 回	ガイダンス：調査研究法とは
第 2 回	調査目的：背景～研究倫理
第 3 回	調査方法
第 4 回	調査テーマ：仮説構築
第 5 回	サンプリング：標本数と誤差
第 6 回	調査の実施方法
第 7 回	調査の実施手順：調査票の配布～回収
第 8 回	調査票の作成法（1）：質問項目
第 9 回	調査票の作成法（2）：項目分析
第 10 回	調査データの整理：エディティング・コーディング
第 11 回	調査データの集計：データクリーニング・単純集計・クロス集計
第 12 回	調査データの分析法（1）： t 検定・分散分析・相関
第 13 回	調査データの分析法（2）：多変量解析（因子分析・重回帰分析）
第 14 回	調査結果の報告方法（1）：論文（報告書）の構成
第 15 回	調査結果の報告方法（2）：論文（報告書）の作成法
第 16 回	まとめ：レポートの提出

到達目標

- ・調査研究の方法論を理解する。
- ・心理系の専門演習や卒論で調査研究を実践するための知識と研究スキルを身につける。

履修上の注意

- ・遅刻・欠席はしないこと。授業での演習や討論に積極的に取り組むこと。
- ・調査方法や実施例について、自ら関連文献を調べ、理解を深めようと取り組むこと。
- ・パソコンを使用します

予習・復習

- ・授業の進捗状況に合わせて配布資料などを参考に予習復習を行うこと。
- ・授業中に質問し、意見を求めたりして、予習復習の確認をおこなうことがある。

評価方法

授業の参加性（60%）とレポート（40%）から総合的に評価する。

テキスト

資料を配布するためテキストは指定しない。授業内で、参考書を適宜紹介する。